

[公財]いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて INDUSTRY INFORMATION IWATE

いわて

2025/12・2026/1 Vol.238



久慈市

有限会社マルヒ製材

地元の木・アカマツを活かし、
ブラシティングで魅力を発信

3

各部事業紹介…6・7

令和7年度 いわて産業人材奨学金返還支援制度…8



主要事業は、住宅用のプレカット部材の販売。安定した品質を提供する。

地元の木・アカマツを活かし、 ブランディングで魅力を発信

久慈市で製材業を営む有限会社マルヒ製材は、地元の木アカマツを丸太から加工している。アカマツは「岩手の木」でもあり、貴重な木材資源。余すところなく活かし、森林保全や温暖化防止の一助を担う。また、アートオブジェ事業では、岩手の木の魅力発信にも貢献している。

久慈市 有限会社マルヒ製材

りんごの木箱用の 部材からスタート

久慈市の製材会社・有限会社マルヒ製材は1957年に創業。地元のアカマツを丸太から製材することから始まった。アカマツは丈夫で、しかも木肌が明るいことからりんごの木箱に重用されている。マルヒ製材は、りんごの木箱用の部材として箱屋に収めるのを生業していた。かつては、家庭でも木箱で購

入していたが、りんごを木箱から段ボールの箱に詰め替えて販売するようになると、次第に木箱の部材としてのマーケットは縮小していった。

地元の木アカマツを 徹底的に活かす

プレカットの需要が増える一方

で、製材の割合は少なくなった。そんな中でも地元の企業として製材を続ける。代表取締役社長の日當和孝(かずゆき)さんは「私たちの会社は、『裏山の木』つまりアカマツを丸太から切り出し、製材して、それを、りんごの木箱の部材として販売して大きくなりました。森林の循環の一部を担う企業として、地元のアカマツを可能な限り活かしきることが使命だと感じています」と言い、アカマツのことを愛着をこ



岩手県産材で作られた木のアートオブジェ「メディテーション」。



①広大な敷地の工場に積み上げられた久慈産のアカマツの丸太。
②2025年1月パリで行われた「MAISON&OBJECT」にて。



業はいわて希望応援ファンドにも
▶詳細は5ページ **この事業を活用しました**
採択された。

また、2025年1月には、パリで行われたインテリアの展示会「MAISON&OBJECT」に出展。出展には、専門家派遣事業からの▶詳細は5ページ **この事業を活用しました** 助言を受けている。 麻利さんは「『メディテーション』トーテム」は、積み木のように思い思いで形を変えられるオブジェ。ヨーロッパでは木に触れることがウェルネス(心身を健康な状態にすること)だと言われています。

めて「裏山の木」と呼ぶ。かつては岩手県内全域に植生していたアカマツだが、松食い虫被害によって壊滅的な状況にある。被害がない久慈地域は、アカマツ存続において重要な立ち位置となっている。

「木材を余すところなく使うのは昔から行われてきたこと。薄く切って「木の花」や「木の賞状」を作るなど、アカマツは適材適所に利用しています。また、製材するときに出た「おが粉」は牛の寝床にしたり、木材の魅力を伝えるブランド「mill the A.」を立ち上げ、県内の会社とともにアートオブジェ「メディテーション」トーテム」を共同開発した。事

世界に進出する 木のオブジェ

MAISON&OBJECTでは、展示会のピックアップとして飾られ、とても高評価を得ました。来年、再来年と続けて出展し、信用を得たいと思っています」と未来を見据える。

地域の魅力アカマツ これからも伝えていく

社長の和孝さんは、これまで、市内の木工工作コンクールの事



③工場内にある倉庫。構造材も木材だ。
④製材の時に出る木の皮やチップはバイオマスエネルギーとして使用。余すところなく木を生かす。



代表メッセージ

ひなた かず ゆき 日當 和孝さん

当社は住宅用木材や、りんごの木箱の部材などを製材し、北東北を中心には販売しています。主要製品である住宅用木材は、高品質な製品に加え、耐震性や耐久性のデータを提供する付帯サービスも展開しています。木の魅力の発信にも取り組んでおり、久慈地域の木・アカマツの活用のため、新しい製品の開発・研究に力を入れています。

近年は、生活用品の多くが紙やプラスチックに代わっており、木に触れる機会が減少しています。木の利点や性能、魅力を知って、適切に木材を利用することは、健全な森林の維持につながります。そのことを伝えるためにも、木の良さを知る「木育」といった活動に積極的に取り組み、地元の木・アカマツを徹底的に活かすことを当社の使命としています。

1957年、久慈市生まれ。久慈市内の高校を卒業し、千葉の大学で経営学を学ぶ。東京の木材問屋で修業した後、帰郷し入社。2024年、代表取締役社長に就任。

企業データ CORPORATE DATA

会社名	有限会社マルヒ製材
所在地	岩手県久慈市夏井町大崎15-1-1
TEL	0194-53-2800
代表者	日當 和孝
従業員数	33名
事業内容	製材業
URL	https://www.maruhiseizai.com/

沿革 HISTORY

1957年	日當粕太郎が久慈市においてりんご箱用の板の製材業者として創業
1989年	法人化
1993年	プレカット事業開始
2022年	木材ブランド「Mill the A.」立ち上げ
2024年	現社長 日當 和孝が社長に就任
2025年1月	「MAISON&OBJET」にCRAFT IWATEとして出展

「裏山の木」アカマツを徹底的に生かすことを使命とするマルヒ製材。森林の保全と環境に寄与しながら、これからも木の魅力と可能性を世界に発信する。アカマツは年月が経つにつれツヤが出て魅力を増すという。そんなアカマツのように、年々企業の魅力が増していくだろう。

会社の広い敷地には、アカマツの丸太が積み上げられていた。木は製材してりんごの木箱の部材になったり、アートオブジェになったりと、加工によっていろいろな形に姿を変える。木の多様性が事業の可能性もあるかのようだ。



かつては岩手県内の各地に広く植生していたアカマツだが、近年は松食い虫による被害が拡大し、久慈地域のアカマツはとても貴重な存在となっている。マルヒ製材では、一貫してアカマツを使ってりんごの木箱の部材を製材しているが、アカマツは節が多くヤニも出る。しかし、木肌の色や強度の面でとても魅力がある樹種と言える。節はりんごの木箱の部材であれば、それほど気にならない。ヤニは蒸煮処理を行い、ヤニが表面に滲み出るのを抑制している。また、色の変化を防ぐために冬季に伐採した丸太を仕入れ、乾燥させて使う。

アカマツの木材としての魅力を伝えるため、りんごの木箱の部材だけでなく、木の賞状や、木の花など、商品開発を行っている。



5



6

⑤木肌の色が明るく、強度があるアカマツ。りんごの木箱の部材は、創業から一貫して作り続けている。
⑥薄くカットしたアカマツの木で作った「木の花」。木の賞状も作っている。

この事業を活用しました

いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業

国の機関や県、金融機関からの出捐により、「いわて希望応援ファンド」を造成し、その運用収入を主な財源として、県内企業が行う新商品開発や販路開拓等の新たな取組へ公募助成を行っています。令和7年度は15事業者が採択となっており、令和8年度につきましては令和8年1月23日(金)まで公募を実施しております。皆様のご応募をお待ちしております。

お問い合わせ 産業支援部 地域産業担当 TEL:019-631-3823



センターで実施している専門家派遣事業について

センターでは様々な事業者に向けた専門家派遣事業を実施しております。下記は令和7年度に実施している専門家派遣事業の一例となっております。専門家派遣を通じて皆様の事業をご支援させて頂きますので関心のある事業者様はお気軽にご相談下さい。

食 品/食品関連産業活性化支援事業に係る専門家派遣事業
アパレル/アパレル関連産業振興事業に係る専門家派遣事業
自 動 車/次世代自動車チャレンジ支援事業
その他、DX関連/医療機器関連/高度化貸付経営支援関連 …等

お問い合わせ 総務金融部 総務企画担当 TEL:019-631-3820



産業支援部

「いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会」の開催

県内縫製企業とアパレルメーカー・商社等の発注企業との取引機会を創出するため、11月20日、東京交通会館において、「いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会」を開催し、県内の縫製企業が13社、首都圏を中心とした全国各地の発注企業32社が参加しました。

当センターでは、今後の取引拡大につながるようフォローアップに努めていくほか、個別の取引あっせん、県内縫製工場のデータベースサイト「縫製工場ナビいわて」の運営など受発注取引に繋がる支援も行っておりますので、下記連絡先にてご相談等承っております。



縫製工場ナビいわて

<https://sewing-db.joho-iwate.or.jp/>



地域産業担当

TEL 019-631-3823

お問い合わせ

地域産業担当 TEL.019-631-3823

産業支援部

「カーボンクレジット」活用促進セミナーの開催

県内企業におけるGX(グリーントランスポーテーション)の取組を支援するため、11月18日ANAホリデイ・イン岩手北上において、東北経済産業局の協力のもと、カーボンクレジットの活用促進・普及啓発に向けたセミナー・個別相談会を開催しました。



省エネやCO₂削減に対する社会的な問題意識の高まりを受け、当センターでは、今後も県内企業におけるGXに向けた取組に対応するべく、カーボンクレジットに関するセミナーの開催や専門家によるフォローアップを継続してまいりますので、関心をお持ちの企業様は担当までご相談ください。

お問い合わせ

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

産業支援部

第11回いわて希望応援ファンド 地域活性化支援事業に係る公募について

当センターでは、本県の中小企業者等が行う起業、経営革新、農商工連携、商店街活性化といった新たな取組や、地域資源を活用した新事業活動を支援すること目的として、「いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業」を実施しています。

本事業は、専門家の謝金、展示会出展に係る経費など、ソフト面の取組に対する助成金として、試作等にもご活用いただけます。

次の公募期間は下記のとおりです。ご応募をお待ちしております。

申請書受付期間:令和8年1月5日(月)～23日(金)
17:00必着

事業実施期間:交付決定日～令和9年1月29日迄

助成率:1/2～3/4

助成限度額:100万円～300万円

お問い合わせ

※助成率など詳しくは当センターホームページをご確認ください。ご相談は随時受付中。
<https://www.joho-iwate.or.jp/fund>



産業支援部

岩手県よろず支援拠点 相談受付中

相談について

- ・何度利用しても無料
- ・経営上のあらゆる相談に対応
- ・経営課題に応じた専門家がチームで対応
- ・来訪、オンライン、電話、メールで対応

ミニセミナー(無料)のご案内

経営相談以外にも、各専門家がセミナーを毎月開催していますので、併せてご活用ください。詳しくはHPをご覧ください。

専門家・専門分野について

中小企業診断士、金融・財務アドバイザー、特定社会保険労務士、補助金、助成金活用、ITコーディネーター、ITコンサルタント、SNSマーケター、Webクリエイター、Webマーケター、マーケティング、コピーライター、食産業プランナー、ふるさと納税、スタイルリスト、宿泊アドバイザー

詳しくは、こちらをご覧ください。



よろずHP



ミニセミナーHP



よろずIG



よろずFB

お問い合わせ

岩手県よろず支援拠点 TEL.019-631-3826

産学連携部

「第5回ILC技術セミナー」のご案内

当センターでは、「いわて加速器関連産業研究会」事務局運営事業を県から受託し、「ILC技術セミナー」を年5回開催しています。

来る1月29日、今年度最後のセミナーを、岩手医科大学と共同で開催いたします。

今回は同大の小笠原学長にご講演いただきます。岩手医科大学には、岩手の高等教育機関の一角として研究会活動に賛同いただいているところです。

また、イギリスの放射線治療装置メーカー「レオ・キャンサー・ケア」日本駐在の方にも最新動向をお話しいただきます。放射線治療装置には「リニアック」と呼ばれる加速器がよく使われているという点で、ILCとも関わりがあります。

地域の企業の皆さんにとって役立つ内容になると考えています。ご参加をお待ちしております。



開催日時 令和8年2月5日(木)14:00～16:30

開催場所 ホテルニューカリーナ(盛岡市菜園2-3-7)

対象者 県内中小製造業等

定員 50名

参加費 無料

共催・後援 共催:いわて産業振興センター、情報処理推進機構(IPA)

後援:岩手県警察本部(サイバー犯罪対策課)

申込方法 当センターHPよりお申込みください。

お問い合わせ

産学連携部 TEL.019-631-3825

ものづくり振興部

「ソフトウェア開発企業ビジネスマッチング商談会」の開催

岩手県内のIT関連企業における受注機会の拡大や新規取引の開拓を促進するため「ソフトウェア開発企業ビジネスマッチング商談会」を10月30日に盛岡市で開催しました。

首都圏等の発注企業11社(うち新規参加2社)、県内の受注企業15社(うち新規参加6社)が参加し、個別面談では県内受注企業が自社の強みや技術、開発実績等についてプレゼンを行い、活発な商談が行われたほか、県内受注企業の間でも情報交換が行われました。

IT関連企業に特化した商談会の開催は、他県で事例がないことから、岩手県独自の取組として今後も積極的にPRを行うとともに、個別のマッチング支援も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

産学連携部

「中小企業のためのサイバーセキュリティ対策セミナー in 岩手」のご案内

当センターでは、県内中小製造業等を対象に、急増するサイバーリスクへの理解と基本的な対策を学ぶセミナーを開催します。自社のセキュリティ体制を見直し、取引先からの信頼向上と安定した事業運営につなげる機会としてぜひご参加ください。

開催日時 令和8年2月5日(木)14:00～16:30

開催場所 ホテルニューカリーナ(盛岡市菜園2-3-7)

対象者 県内中小製造業等

定員 50名

参加費 無料

共催・後援 共催:いわて産業振興センター、情報処理推進機構(IPA)

後援:岩手県警察本部(サイバー犯罪対策課)

申込方法 当センターHPよりお申込みください。



お問い合わせ

産学連携部 TEL.019-631-3825

ものづくり振興部

「いわて商談会」の開催

岩手県のものづくり産業の集積と高度化に向け、発注企業と受注企業が一堂に会して商談を行う「いわて商談会」を11月13日に盛岡市で開催しました。

東北・首都圏などを中心とした発注企業93社、県内を中心とした受注企業204社に参加いただきました。会場の都合もあり、参加企業数は受注企業いすれも昨年より減少したものの、過去3番目の多さとなりました。

参加企業各社とも、自社の強みや得意な技術をアピールし、新規取引獲得に向けた商談が行われました。

当センターでは本会における商談をフォローアップするとともに、個別の受注取引のマッチング支援も行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822



令和7年度 いわて産業人材

奨学金返還支援制度

最大
250
万円

いわてで暮らし、
いわてで働くことを希望する方の
奨学金返還を支援します！



岩手県ホームページ

募集人数 80名程度

募集期間 令和7年10月10日(金)～令和8年3月6日(金)

応募対象者

次のいずれにも該当する方を応募対象者とします。

- 独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）及び第二種奨学金（有利子）の貸与を受けており、将来返還予定又は返還中であること。
- 応募の時点で、次に掲げるいずれかの方
理工系（工学、理学、農学、薬学、情報学（これらに相当する学部・研究科含む。））の学位又は文系の学位を取得予定又は取得済の方
- 応募の時点で、次に掲げるいずれかの方

区分	在籍する大学等	申請可能な学年
学生	大学院の修士課程	1・2年生
	6年制大学（薬学部、またはこれに該当する学部のみ）	5・6年生
	大学	3・4年生
	高等専門学校（専攻科を含む）	4・5年生
既卒者	上記の大学等を卒業し、県外で就業している35歳未満の方（募集開始年度の4月1日時点）、又は県内に正規雇用で就業していない35歳未満の方（募集開始年度の4月1日時点）で、募集開始年度中に県内の認定企業において就業し、かつ居住する意志を有すること。	

- 岩手県の認定を受けた県内の「認定企業」への就業を希望する方
※「認定企業」は県・ものづくり自動車産業振興室HPにて公開しています。
対象分野・業種：岩手県内のものづくり・IT関連企業、建設関連企業、地域未来投資促進法分野、若者女性活躍関連企業、働きやすい職場関連企業
- 岩手県内に定住することを希望する方

詳細については上記QRコード（岩手県ホームページ）をご確認下さい。